

鴨川小学校だより

令和4年10月25日第21号（保護者の皆様へ）

「こだましてしょうか、いいえ、誰でも。」

こだましてしょうか

金子みすゞ

「遊ぼう」っていうと

「遊ぼう」っていう。

「馬鹿」っていうと

「馬鹿」っていう。

「もう遊ばない」っていうと

「もう遊ばない」っていう。

そうして、あとで

さみしくなって、

「ごめんね」っていうと

「ごめんね」っていう。

こだましてしょうか、

いいえ、誰でも。

この「こだましてしょうか」の詩は、楽しい言葉も、つらい言葉も、謝る言葉も、こだまのように自分に返ってくることを伝えています。最後の二行で、「こだましてしょうか」と問いかけ、「いいえ、誰でも」と終わります。

この詩を読んで、東日本大震災の後、テレビから流れていたACジャパンの広報を思い出される方もいらっしゃるかもしれません。広報の最後に流れるテロップに、「やさしく話しかければ、やさしく相手も答えてくれる。」とあるように、人は、優しい言葉をかけられると、優しい言葉を返したくなるものなのかもしれません。逆に、悪口を言われると、悪口を言い返したくなるものなのかもしれません。

ACジャパンのサイトには、「たった一言で、人は傷つく。たった一言で、人は微笑む。自分がやさしく話しかければ、きっと相手も、おだやかに答えを返してくれる。ことばは、人から人へ「こだま」します。この広告が、人と人のやさしい会話のきっかけになるように願いを込めました。」と書かれています。

相手を思う言葉、温かい言葉、大事にしたいものです。

■北播地区小学生陸上競技記録会に挑みました！

北播地区各市町の小学生が参加する大会で、三木総合防災公園陸上競技場で行われました。参加した5・6年生8名の子どもたちは、緊張感を味わいながら、その中で、自分の力を発揮しようと挑みました。

5年女子80mハードルで第7位、6年女子80mハードルで第4位を受賞しました。皆様には、送迎等でお世話になりありがとうございました。

（校長 福井 明）